

表彰、助成対象者を決定

丸文研究交流財団 13日に贈呈式

(財)丸文研究交流財団(島根久摩理事長)は、第四回表彰対象者を決定。十三日午後二時四十分から東京都千代田区有明の丸文研究交流財団会館で贈呈式を行う。

今回は、合計五十五人に総額二千七百五十万円が贈呈される。内訳は次のとおり。

▽研究交流奨励表彰(受賞者四人、表彰金合計五百万円)
▽研究交流助成(同一十一人、千五百万円)
▽国際交流助成(同一十人、五百五十万円)
▽産学交流助成(同一十人、二百五十万円)

最も賞金額の多い「丸文学術賞」(二百万円)の受賞者は、名城大学の天野浩理工学部教授。研究テーマは「Ⅲ族窒化物半導体極高の高品質化・伝導性制御および諸物性の解明」。

同財団は、丸文の設立五十年と東証一部上場を記念し、一九九七年三月に設立された。産学技術分野における国内外の若手研究者の国際的な研究交流活動の支援助成を目的としている。

(財)丸文研究交流財団

第4回表彰/助成対象者決定

丸文学術賞は名城大学理工学部助教授 天野浩氏

(財)丸文研究交流財団(東京都中央区日本橋小伝馬町二一九、東京滋養ビル八階)は、第四回丸文学術賞・丸文研究奨励賞および研究交流奨励賞を決定した。

び丸文研究交流助成金などの受賞者・対象者を決定し、表彰金と研究交流助成金の贈呈を行った。

同財団は、丸文の設立五〇周年と東京証券取引所市場第一部上場の記念に、一九九七年三月に設立された。同表彰/助成は、国際的な観念を持った研究の促進、若手の人材育成などを目的としている。今回は、LSI、LSIシステム分野、光エレクトロニクス分野、先端デバイス分野のいずれかの分野に従事している研究者を対象に公募、選考した。五五人の国内外研究者に対して表彰金/助成金を贈呈する。

研究交流奨励表彰は、日本の大学、国公立研究所などの研究機関において、研究交流に基づき顕著な業績をあげつつある研究者を奨励する。



(財)丸文研究交流財団第4回表彰式の様子

励表彰するものである。このうち、丸文学術賞には、名城大学理工学部助教授天野浩氏が受賞、賞金二〇〇万円が贈呈された。研究業績は、Ⅲ族窒化物半導体結晶の高品質化・伝導性制御及び諸物性の解明で、

格子の創成の三人が受賞し、それぞれ一〇〇万円の表彰金を贈呈された。

研究交流助成は、日本の大学、国公立研究所などの研究機関が、研究交流を目的として受け入れた国内外の研究者の研究費などを助成するものである。対象者一人に助成金合計一五〇〇万円が贈呈された。国際交流助成は国内外で実施される国際シンポジウム、国際会議および国際共同研究所などへ参加する国内外の研究者に海外旅費、参加費などを助成する。

ある。丸文研究奨励賞は、東京大学工学部附属総合試験所助教授 香取秀俊氏(研究業績:アルカリ土類原子の極低温・高密度レーザー冷却法の開発、東京工業大学大学院総合理工学研究所助教授 川崎雅司氏(酸化亜鉛の精密エレクトロニクスと紫外レーザー発振)、大阪大学産業科学研究所助教授 田畑又仁氏(レーザIMBE法による強誘電体/強磁性体機能調和人工

対象者三〇人、助成金合計五五〇万円である。

また、産学官交流助成は、日本の民間、大学、国公立研究所などの研究機関において、産学官の連携交流のもとで研究(修学を含む)する研究者の旅費、交通費などを助成する。対象者一〇人、助成金合計二〇〇万円である。